保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	CD/MP3ステレオミニコンポ			★お買上日：　　年　　月　　日
型　番	MCM-3500N	品　番	07-7998	保証期間：本体1年間(お買上げの日から)
お客様	★お名前　　様			
	★ご住所　〒			
	電話　(　　)			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話			印

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7998B

AudioComm®

取扱説明書

保証書付

CD/MP3ステレオミニコンポ

型番：MCM-3500N　品番：07-7998

このたびは、AudioComm® CD/MP3 ステレオミニコンポをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間および経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

表示	意味
危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

絵表示	説明
	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合は、電源コードをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

絵表示	内容	絵表示	内容
コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源コードをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない**
		禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源コードをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
修理を依頼	**電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠注意

絵表示	内容	絵表示	内容
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	濡れ手禁止	**濡れた手で電源コードを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	禁止	**電源コードを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。

次ページに続く

⚠注意

コンセントから抜く	**お手入れの際には安全のため電源コードをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。
コンセントから抜く	**移動させるときは、必ず電源コードをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
極性に注意	**リモコン用乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**指定以外の乾電池は使わない** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない** ●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源コードをコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
音量は小さく	**電源を入れた後、音楽等を再生する前には、音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
注意	**乳幼児や子供に触れさせない** ●お子様がCDドアやSDカードスロット・USB端子開閉カバーに手を入れないようにご注意ください。指を挟んだりして、けがの原因となることがあります。
掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

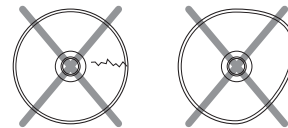
●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CDについて

ディスク使用上の注意点

◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO、CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。

音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。

なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCDのマーク

◆Dual Disc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。

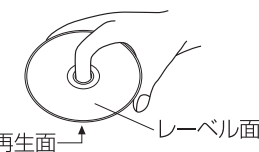
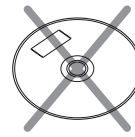
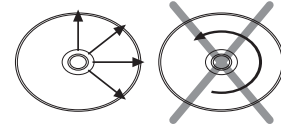
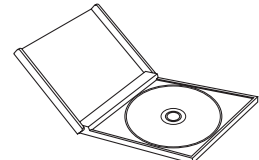
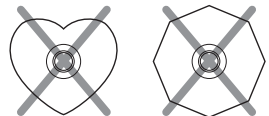
◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。

・CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。

・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。

・本機ではMP3以外の圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。

ディスク取扱上の注意点

◆再生面に触れないように持ってください。

◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。

◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

次ページに続く

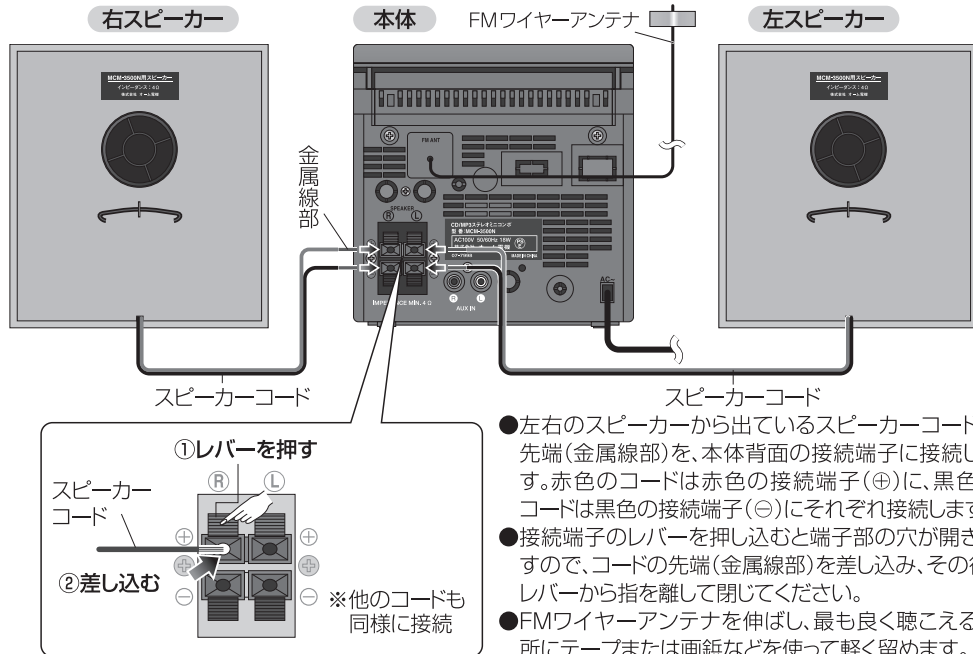
ご使用になる前に（つづき）

USBメモリーおよびSDカードについて

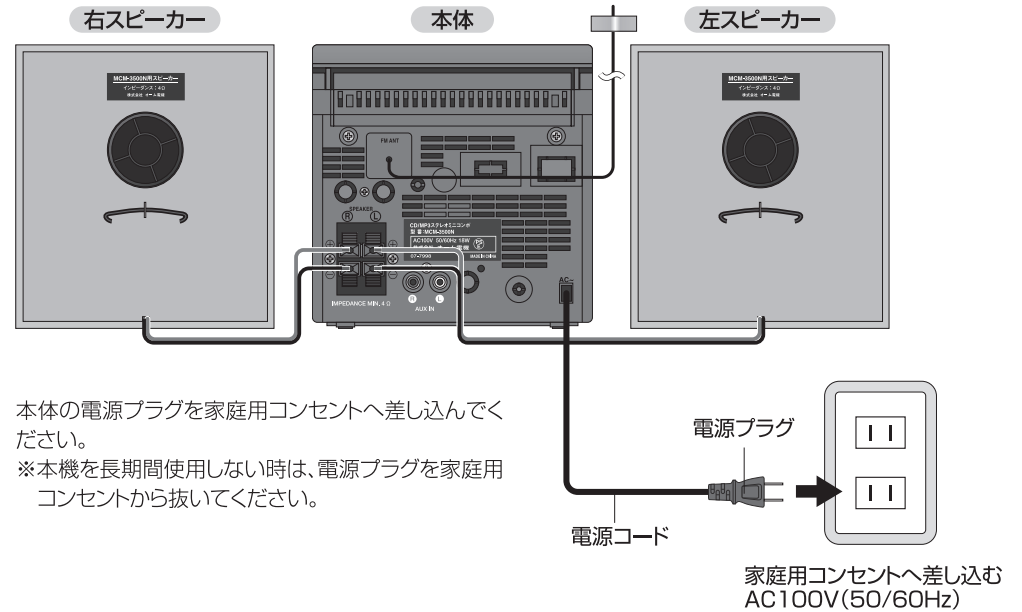
本機ではCD、SDカードやUSBメモリー内の音楽ファイル（**MP3形式**）を再生して楽しむことができます。
SDカード、USBメモリーはそれぞれ最大16GB ／32GBの容量までサポートしています（SDHC対応）が、以下の制限がありますのでご注意ください。

●フォーマット：FAT32　　●対応ビットレート／ 8〜320kbps
●DRM（著作権保護）付きファイルは再生できません。
●本機で再生できる容量は最大99フォルダー／ 999ファイルまでです。
　※上記を超えるフォルダー／ファイルは読み込まれません。また、上記の仕様内であっても、メディアの状態やフォルダーの階層構造、ファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数等が見た目上の数と違って表示されることがあります。
●フォーマットの違いから、MP3形式のファイルは、他の音楽CDなどと比べて読み込むまでに時間がかかる場合があります。
●読み取り不可能なメディアが装着された場合は「NO DISC」、「NO USB」、「NO SD」、「NO FILE」などと表示されます。
●本機がCD、SDカード、USBメモリー内のMP3ファイルを読み込む順序は以下の通りです。
　1. ファイル／フォルダーはルート階層から順に深い階層へ順次読み込まれます。
　2. 同一階層にあるファイル／フォルダーは、まず収録された日時が新しい順にファイルが読み込まれます。
　　次に、収録された日時が新しい順にフォルダーが読み込まれます。
　　各フォルダー内についても同様の順序で読み込まれます。
●本機のUSB端子はUSBメモリー接続用に設計されており、USBケーブルによる外部機器接続（MP3プレーヤーやパソコン等）には対応しておりません。また、USBハブ等を介して接続する場合も動作保証はいたしかねます。USBメモリーを直接本機のUSB端子に装着してご使用ください。

接続のしかた

ご注意　必ず電源を切り、家庭用コンセントからプラグを抜いた状態で行ってください。

●左右のスピーカーから出ているスピーカーコードの先端（金属線部）を、本体背面の接続端子に接続します。赤色のコードは赤色の接続端子（⊕）に、黒色のコードは黒色の接続端子（⊖）にそれぞれ接続します。
●接続端子のレバーを押し込むと端子部の穴が開きますので、コードの先端（金属線部）を差し込み、その後、レバーから指を離して閉じてください。
●FMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所にテープまたは画鋲などを使って軽く留めます。

電源について

ご注意　必ず電源を切り、家庭用コンセントからプラグを抜いた状態で行ってください。

本体の電源プラグを家庭用コンセントへ差し込んでください。
※本機を長期間使用しない時は、電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。

家庭用コンセントへ差し込む
AC100V（50/60Hz）

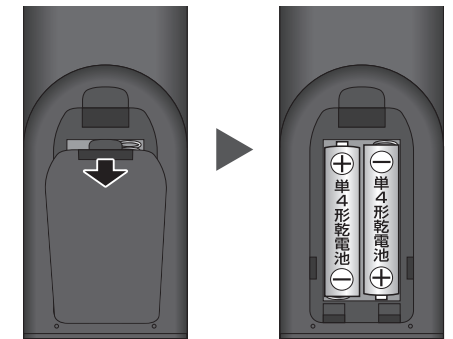
リモコンへの乾電池の入れかた

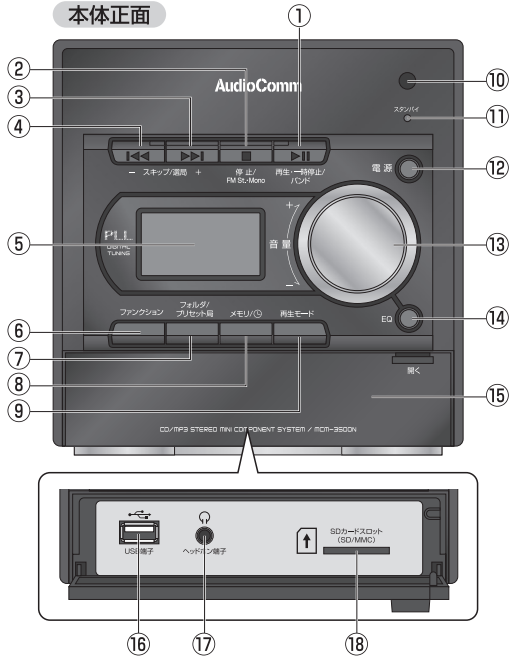
❶ リモコン背面の電池ぶたのツメを外して、電池ぶたを開ける

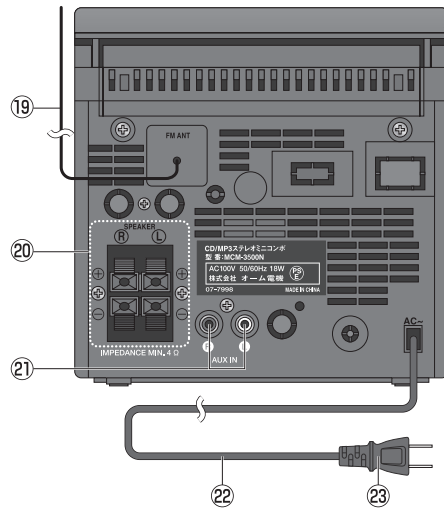
❷ 単4形乾電池／ 2本（別売）を極性（⊕⊖）に注意しながら図2のように正しく入れる

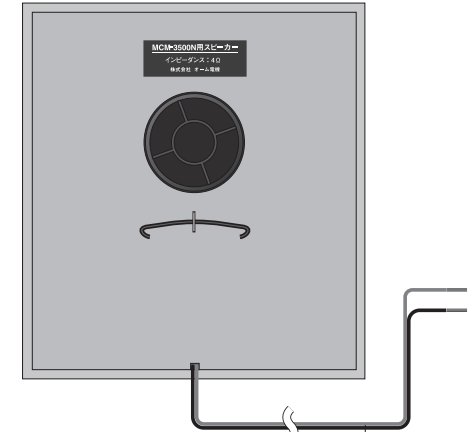
❸ 電池ぶたを元通りにしっかりと閉める

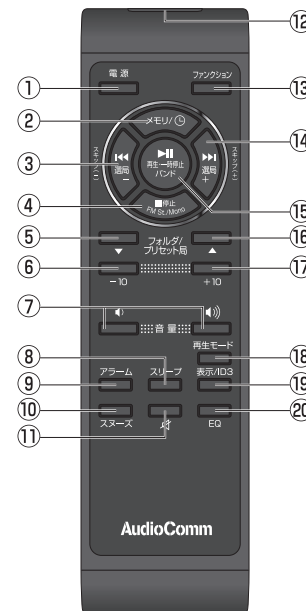
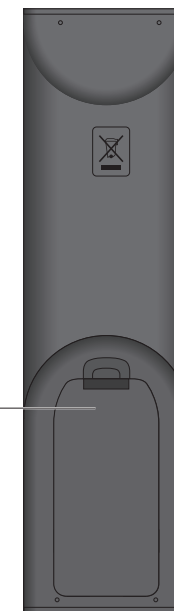
※ボタン操作が効かなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、乾電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。
※長期間使用しない時は、乾電池を取り外して保管してください。

図1　図2
単4形乾電池
2本（別売）

各部の名称

本体正面

本体上面

本体背面

①再生・一時停止／バンドボタン
②停止／ FMステレオボタン
③スキップ／選局ボタン(＋)
④スキップ／選局ボタン(－)
⑤ディスプレイ
⑥ファンクションボタン
⑦フォルダ／プリセット局ボタン
⑧メモリ／時刻設定ボタン
⑨再生モードボタン
⑩リモコン信号受信部
⑪スタンバイランプ
⑫電源ボタン
⑬音量ツマミ
⑭イコライザーボタン
⑮SDカードスロット・USB端子開閉カバー
⑯USB端子
⑰ヘッドホン端子
⑱SDカードスロット
⑲FMワイヤーアンテナ
⑳スピーカーコード接続端子
㉑外部音声入力(AUX IN)端子
㉒電源コード
㉓電源プラグ
㉔CD扉
㉕CD扉開閉部

スピーカー前面　スピーカー背面

スピーカーコード

※2つのスピーカーは同じですので、左右どちらでもお使いいただけます。
※スピーカーコードの接続は⊕と⊖を正しく接続してください。

リモコン前面　リモコン背面

①電源ボタン
②メモリ／時刻設定ボタン
③スキップ／選局ボタン(－)
④停止／ FMステレオボタン
⑤フォルダ／プリセット局ボタン(－)
⑥-10ボタン
⑦音量ボタン(＋／－)
⑧スリープボタン
⑨アラームボタン
⑩スヌーズボタン
⑪消音ボタン
⑫信号送信部
⑬ファンクションボタン
⑭スキップ／選局ボタン(＋)
⑮再生・一時停止／バンドボタン
⑯フォルダ／プリセット局ボタン(＋)
⑰+10ボタン
⑱再生モードボタン
⑲表示／ ID3ボタン
⑳イコライザーボタン
㉑電池ぶた

時刻を設定する

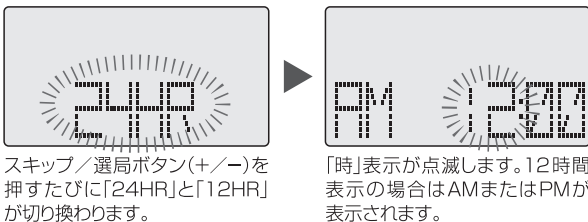
ご注意　本体　リモコン

電源が入っているときは、電源ボタンを押して電源を切り、スタンバイ状態にしてから操作してください。

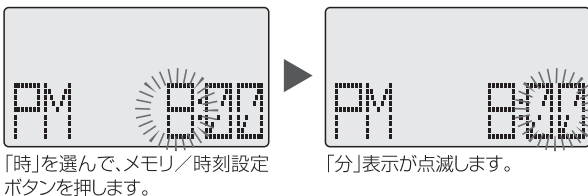
スタンバイ状態では、スタンバイランプが点灯します。

❶ メモリ／時刻設定ボタンを押した後、スキップ／選局ボタン(+／−)を押して、時刻の表示形式(24時間表示または12時間表示)を選び、もう一度メモリ／時刻設定ボタンを押す

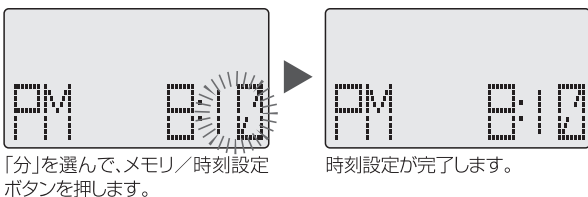
スキップ／選局ボタン(+／−)を押すたびに「24HR」と「12HR」が切り換わります。

「時」表示が点滅します。12時間表示の場合はAMまたはPMが表示されます。

❷ スキップ／選局ボタン(+／−)を押して「時」を選び、メモリ／時刻設定ボタンを押す

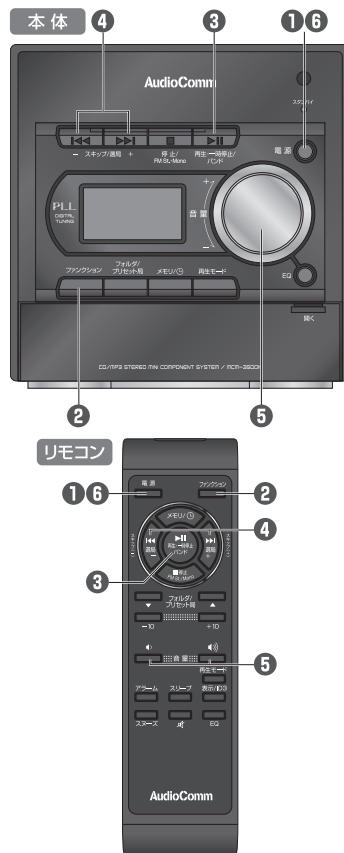
「時」を選んで、メモリ／時刻設定ボタンを押します。

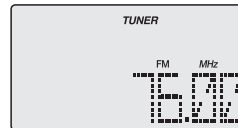
「分」表示が点滅します。

❸ スキップ／選局ボタン(+／−)を押して「分」を選び、メモリ／時刻設定ボタンを押す

「分」を選んで、メモリ／時刻設定ボタンを押します。

時刻設定が完了します。

ご注意
- 約10秒以上ボタン操作をしない時間が続くと、その時点の設定で時刻が確定します。修正する場合は最初からやり直してください。
- 電源プラグを家庭用コンセントから抜いた場合は、再設定が必要です。

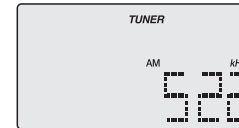
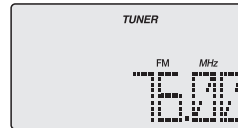
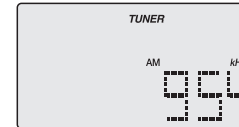
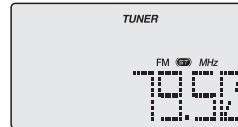
ラジオを聴く

本機は簡単で正確に周波数設定ができるデジタルチューニング方式を採用しております。

❶ 電源ボタンを押して電源を入れる

スタンバイランプが消灯し、「HELLO」の文字に続いて「TUNER(FM)」が選ばれた状態で電源が入ります。

❷ 「TUNER」以外の機能が選ばれている場合は、ファンクションボタンを数回押して「TUNER」にする

ヒント　2回目以降に電源を入れた場合は、前回の最後に使っていた機能が表示されます。必要に応じて機能を切り換えてください。

❸ 再生・一時停止／バンドボタンを押して「AM」または「FM」を選ぶ

FMの表示例　AMの表示例

❹ スキップ／選局ボタン(+／−)を押して聴きたい放送局を受信する

スキップ／選局ボタン(+／−)	周波数／受信	
	AM	FM
短く押す	9kHzごとに増減	0.1MHzごとに増減
2秒間押してから指を離す	周波数が昇順(降順)に送られ、いちばん最初に受信した放送局で止まります。	

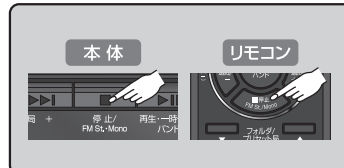
ヒント

ラジオを聴いているときにリモコンの表示／ ID3ボタンを押すと、周波数表示と現在時刻表示を切り換えることができます。

❺ 本体の音量ツマミまたはリモコンの音量ボタン(+／−)で音量を調節する

近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。本体の音量ツマミは+、−それぞれの方向に回すと「カチッ」と音がして1段階音量が変化します。音量レベルは約7秒間表示され、元の画面に戻ります。

❻ 終了するときは電源ボタンを押してスタンバイモードにする

「GOOD BYE」の表示に続いてディスプレイのバックライトが消え、時刻表示になります。また、電源オフ時はスタンバイランプが点灯します。

ヒント　FMステレオ放送について

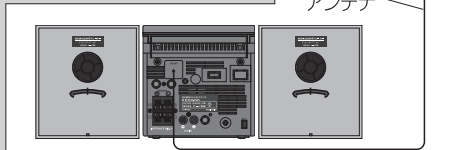
良好な状態でFM放送を受信中すると、ディスプレイにFMステレオマーク(ST)が表示されます。このとき、停止／ FMステレオボタンを押すと、ステレオとモノラルを切り換えることができます。ノイズが多い場合などは、モノラルにすることで聴きやすくなることがあります。

次ページに続く

ヒントとご注意　受信状態をよくするには

●AM放送の受信
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

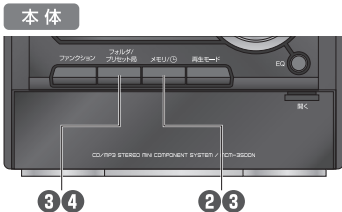
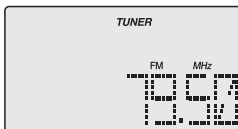
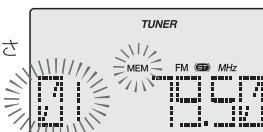
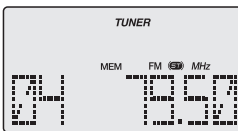
※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●FM放送の受信
本体背面にあるFMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所に、テープまたは画鋲などを使って軽く留めます。

移動させるときは、FMワイヤーアンテナが引っかかったり、本機との結合部が破損しないよう、FMワイヤーアンテナを壁などから外してください。

メモリー選局

本機はFM放送20局、AM放送10局をメモリー登録し、簡単に選んで聴くことができます。

本体

リモコン

❶ メモリー登録したい放送局を受信する

❷ メモリ／時刻設定ボタンを押す
MEM マークとメモリー番号が点滅表示されます。

❸ フォルダ／プリセット局ボタンを数回押して、登録したいメモリー番号を選び、メモリ／時刻設定ボタンを押す
メモリ／時刻設定ボタンを押すと点滅から点灯に変わり、設定が確定します。

❹ メモリー登録した放送局を受信するには、フォルダ／プリセット局ボタンを数回押して聴きたい放送局のメモリー番号を選ぶ

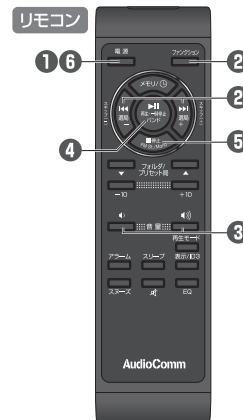
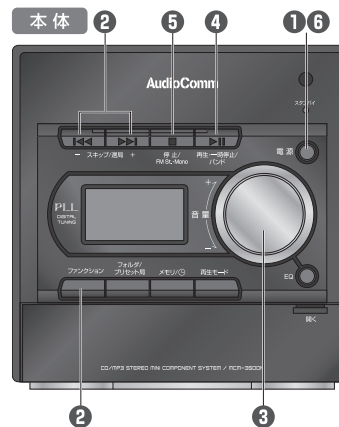
ヒントとご注意

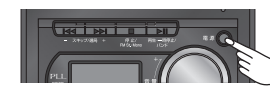
●本体のフォルダ／プリセット局ボタンでは、メモリー番号を昇順(1、2、3 …)にしか送れません。リモコンの場合は、フォルダ／プリセット局ボタン(+／−)により、昇順／降順(3、2、1…)に送れます。
●メモリー受信中にスキップ／選局ボタン(+／−)を押すと通常の選局モードになり、周波数が送られます。
●約8秒間何も操作しない時間が続くと、設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
●メモリー番号を変更するには、上記❸で書き換えたいメモリー番号を選び、上書きしてください。
●メモリー登録した放送局をスキップ／選局ボタン(+／−)で選局した場合も、MEM マークとメモリー番号が表示されます。

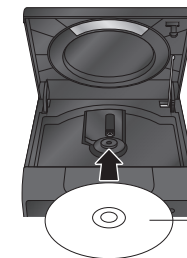
本体

リモコン

ご注意

本機のUSB端子はUSBメモリー接続用に設計されており、USBケーブルによる外部機器接続(MP3プレーヤーやパソコン等)には対応しておりません。また、USBハブ等を介して接続する場合も、動作保証はいたしかねます。USBメモリーを直接本機のUSB端子に装着してご使用ください。

【電源オンとメディアのセッティング】
お聴きになるメディアに応じて正しく操作してください。

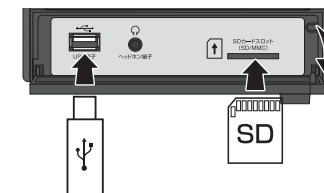
CD(Audio CDやMP3)の場合

Ⓐ 電源ボタンを押して、電源を入れる

Ⓑ 本体上部のCD扉開閉部を押してCD扉を開ける
初めて使用するときは、輸送時等のレンズ保護のために装着してあるレンズ用保護シートを外してください。

Ⓒ レーベル面を上にしてCDをセットし、CD扉を閉める
CD扉開閉部を"カチッ"と音がするまでしっかりと閉めてください。

レーベル面(タイトルなどが印刷してある面)を上にして装着します。

USBメモリー、SDカードの場合

電源が切れた状態(スタンバイモード)、または、USBまたはSDカード以外のファンクション(CD、TUNER、AUX IN)が選ばれた状態で、以下の操作をします。

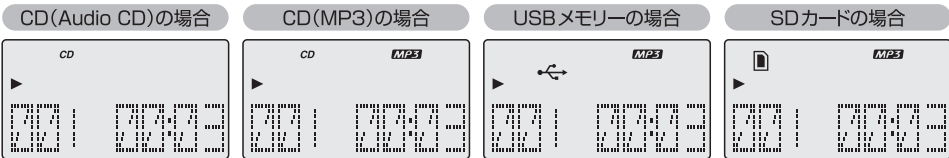
Ⓐ SDカードスロット・USB端子開閉カバーを開け、USBメモリーやSDカードをそれぞれの端子／スロットに装着する

差し込む向きを間違えないように気をつけて、しっかりと奥まで装着してください。

Ⓑ 電源が切れた状態で装着したときは、電源ボタンを押して、電源を入れる

次ページに続く

2 ファンクションボタンを押してメディアに適したファンクションを選ぶ

メディアが読み込まれた後、自動的に再生が始まります。ディスプレイには再生中の曲番号と経過時間が表示されます。

CD（Audio CD）の場合　CD（MP3）の場合　USBメモリーの場合　SDカードの場合

ヒント スキップ／選局ボタン（＋／－）について

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップ／選局ボタン（＋）	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップ／選局ボタン（－）	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

3 本体の音量ツマミまたはリモコンの音量ボタン（＋／－）で音量を調節する

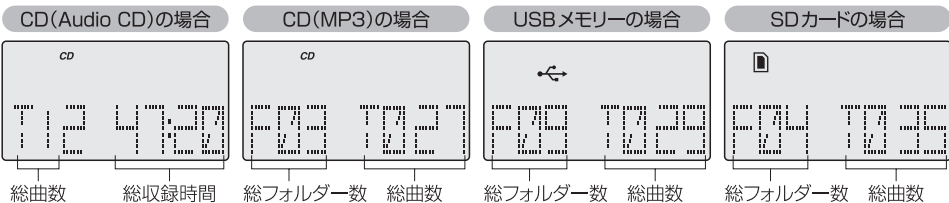
近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。音量レベルは約7秒間表示され、元の画面に戻ります。

4 再生を一時停止するときは、再生・一時停止／バンドボタンを押す

一時停止中は「PAUSE」と点滅表示されます。もう一度押すと再生を再開します。

5 再生を中止するときは、停止／ FMステレオボタンを押す

停止するとディスプレイの表示が以下のようになります。

CD（Audio CD）の場合　CD（MP3）の場合　USBメモリーの場合　SDカードの場合

6 終了するときは電源ボタンを押してスタンバイモードにする

「GOOD BYE」の表示に続いてディスプレイのバックライトが消え、時刻表示になります。電源オフ時はスタンバイランプが点灯します。

ご注意 USBメモリーやSDカードを取り外す際は、電源ボタンを押してスタンバイ状態にするか、ファンクションをCD、TUNER、AUX INに切り換えてから行ってください。USBやSDカードを選択中にメディアを取り外すと、メディア内のデータを破損するおそれがあります。

ヒント

●フォルダ／プリセット局ボタンを使ってフォルダーを選ぶ

フォルダー階層を持つCD-R/RWやUSBメモリー、SDカードは、フォルダ／プリセット局ボタンを使ってフォルダー間をジャンプすることができます。

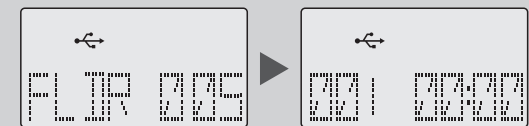
●再生中に操作すると／

・本体のフォルダ／プリセット局ボタンの場合は次のフォルダーの1曲目にジャンプして再生します。

・リモコンのフォルダ／プリセット局ボタン（＋／－）の場合は、次の（前の）フォルダーにジャンプして再生します。

●停止中に操作する場合は／

押すたびに、フォルダー番号に続いてフォルダーの最初の曲番号と経過時間（00：00）が表示されます。フォルダーの最初の曲番号と経過時間（00：00）が表示されている間に再生・一時停止／バンドボタンを押すと再生が始まります。

※総フォルダー数／総トラック数表示に戻ってしまった場合は、もう一度やり直してください。

●＋10ボタン、－10ボタンの使い方

リモコンの＋10ボタンを押すと10曲先にジャンプして再生します。－10ボタンの場合は10曲前にジャンプして再生します。

※総曲数が10曲以下の場合や、前後の残り曲数が10曲未満の場合は、＋10ボタンを押すと先頭の曲番号に、－10ボタンを押すと最後の曲番号にジャンプします。

●表示／ ID3ボタンについて

CD-R／RWやUSBメモリー、SDカード内のMP3ファイルにID3タグ情報が含まれている場合、再生中にリモコンの表示／ID3ボタンを押すたびに、FILE（タイトル）、ALBUM（アルバム）、SONG（曲名）、ARTIST（アーティスト）、現在時刻、通常の再生表示の順にディスプレイ表示が変化します。

※英数字のみに対応。メディアや収録された状態によっては正しく表示されない場合があります。

ID3タグ情報はスクロール表示されます。

次ページに続く

プログラム再生

登録は再生停止時に行ってください。

本機では、最大20曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。

本 体

❷❸ ❹

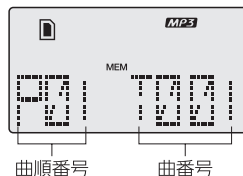
❶❷❸

リモコン

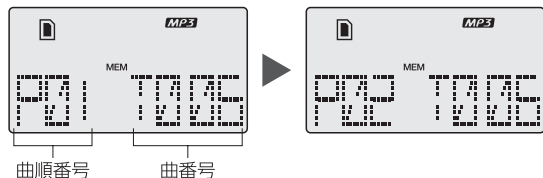
❶❷❸ ❷❸ ❹

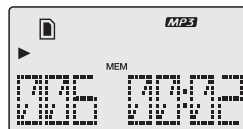
❶ 再生停止中にメモリ/時刻設定ボタンを押す

MEM マークとともに、以下の画面が表示されます。

曲順番号　曲番号

❷ スキップ/選局ボタン(+/−)を押して、登録したい曲番号を選び、メモリ/時刻設定ボタンを押す

曲番号を選んでメモリ/時刻設定ボタンを押すと、P02へと表示が変わり、2番目に登録したい曲を選べるようになります。

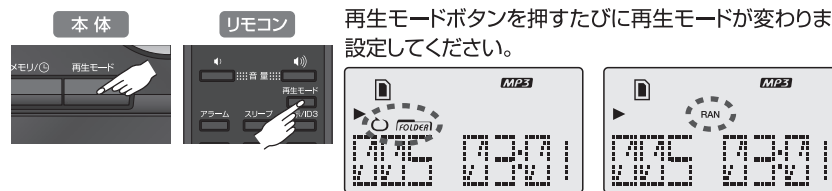
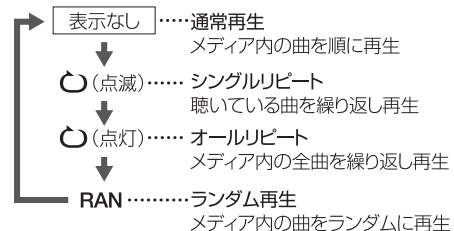
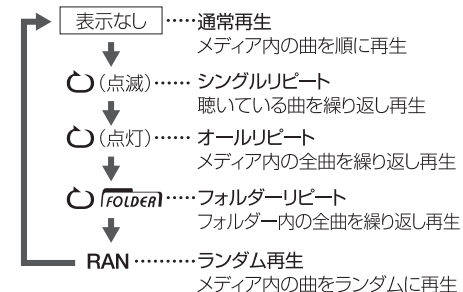
曲順番号　曲番号

❸ 登録したい曲順で、上記❷の操作を繰り返す

❹ 登録がすべて終わったら、再生・一時停止/バンドボタンを押す=プログラム再生開始

プログラム再生時は MEM マークが表示されます。

> **ヒントとご注意**
>
> ●メディアをまたいでのプログラム登録はできません。
> ●プログラム登録後に再生操作をしなかった場合や、登録中に約7秒間何も操作しない時間が続くと、プログラム内容がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
> ●以下の場合、プログラム内容が破棄されます。
> 　・プログラム再生時に停止/FMステレオボタンを2回続けて押したとき　・CD扉を開けたとき
> 　・他のファンクションに移行したとき　・電源を切ったとき
> ●プログラム内容を変更するときは、いったん上記のいずれかの操作でプログラム内容を破棄し、最初からやり直してください。
> ●プログラム再生とオールリピート(次ページ参照)を併用すると、プログラムされた曲順でリピート再生できます。

リピート再生・ランダム再生

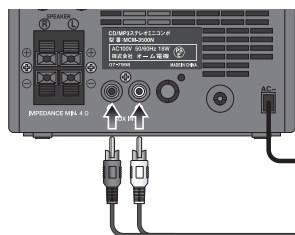
本 体　リモコン

再生モードボタンを押すたびに再生モードが変わります。お好きなモードを設定してください。

※ファイルのみでフォルダーがないメディアの場合や、メディア内に含まれるフォルダーが1つだけの場合は、オールリピートとフォルダーリピートは同じです。

外部機器の音楽を聴く

携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどと接続して、外部機器の音楽を本機で楽しむことができます。

本機と外部機器の接続方法

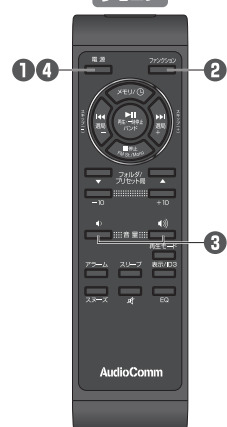
ご注意 接続は本機および外部機器の電源が切れた状態で行ってください。

❶ 上記を参照して正しく接続した後、電源ボタンを押して本機の電源を入れ、外部機器側の電源も入れる

❷ ファンクションボタンを数回押して「AUX」にする

❸ 外部機器側で再生等の操作をする

音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくすると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

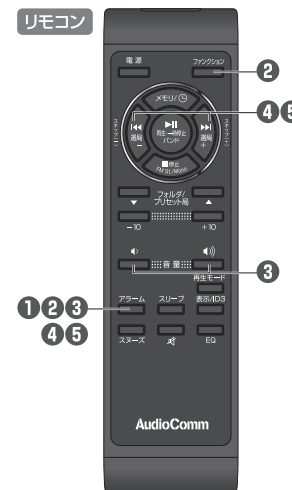
❹ 終了するときは電源ボタンを押してスタンバイモードにする。その後、外部機器側の電源も切り、接続を解除する

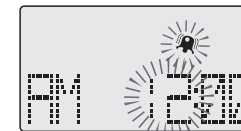
「GOOD BYE」の表示に続いてディスプレイのバックライトが消え、時刻表示になります。また、電源オフ時はスタンバイランプが点灯します。

便利な機能

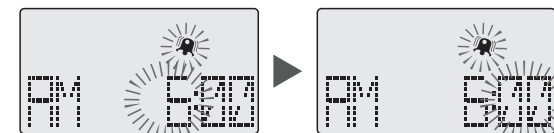
アラーム（タイマー再生）

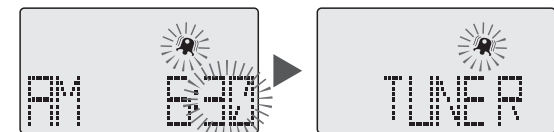
リモコンで操作してください。

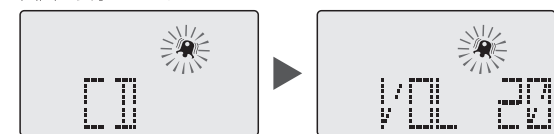
本機では、ラジオ、CD、USBメモリー、SDカードのいずれのファンクションからアラーム起動時の音源を選べます。

アラーム音源に合わせて以下の操作をしてください。
◎ラジオの場合はあらかじめ放送局を受信する
◎CD、USBメモリー、SDカードの場合はそれぞれのメディアをセットする

❶ アラームボタンを長押しする

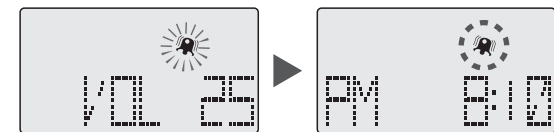
アラームマークと起動時の「時」表示が点滅します。

❷ スキップ／選局ボタン（＋／－）でアラームを起動する「時」を選び、アラームボタンを押す

「時」を選んでアラームボタンを押すと、「分」表示が点滅します。

❸ スキップ／選局ボタン（＋／－）でアラームを起動する「分」を選び、アラームボタンを押す

「分」を選んでアラームボタンを押すと、起動時のファンクションを選ぶ画面が表示されます。

❹ スキップ／選局ボタン（＋／－）でファンクションを選び、アラームボタンを押す

ファンクションを選んでアラームボタンを押すと、起動時の音量を設定する画面が表示されます。

❺ 音量ボタン（＋／－）で音量を選び、アラームボタンを押す

起動時の音量を選んでアラームボタンを押すと設定が完了します。スタンバイモード時に設定した場合は現在時刻表示になります（アラームマークが表示されていることを確認し、表示されていない場合はアラームボタンをもう一度押してください）。

次ページに続く

便利な機能（つづき）

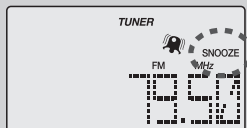
ヒントとご注意

●設定したファンクションとアラーム起動時の動作

ラジオ	最後に聴いていた放送局を受信します。
CD、USBメモリー、SDカード	１曲目から再生します。

●**起動したアラームを止めるには**／電源ボタンまたはアラームボタンを押してください（電源が切れます）。

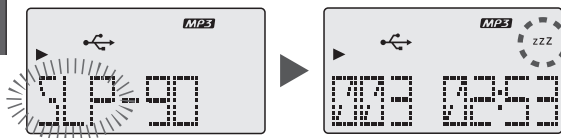
●**アラーム起動中にスヌーズボタンを押すと**／音が止まります（スヌーズ中はディスプレイにSNOOZEマークが表示されます）。そのまま約９分間経過すると、再度アラーム音が鳴ります。

リモコン

●**登録してあるアラームを再度オンにするには**／アラームボタンを押すことで簡単にオン／オフができます。ディスプレイにアラームマークが表示されているときがオン、非表示のときがオフです。

スリープ

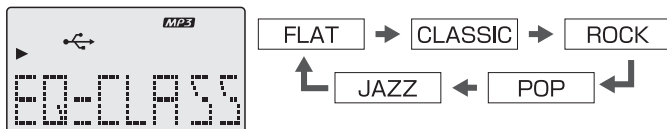
電源オンの状態で操作してください。

リモコン

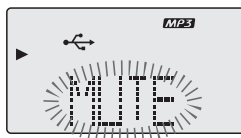
リモコンのスリープボタンを押すと、自動電源オフまでの時間を設定できます。スリープボタンを押すたびに、90分から80分、70分…と10分刻みで「OFF」（スリープ機能オフ）まで、変化しますのでお好みの時間に設定してください。

任意の「SLP-（時間）」を選んだ後、約４秒間そのままにすると設定が確定して元の画面に戻ります。スリープ機能が有効なときはzzzマークが表示されます。

イコライザー

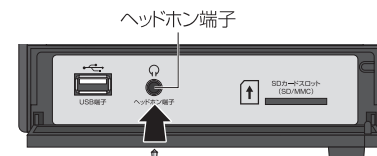
リモコン

リモコンのイコライザーボタンを押すと、お好きな音質でラジオや音楽を楽しむことができます。イコライザーボタンを押すたびに音質が変わり、ディスプレイに設定名が表示されますので、お好みの音質に設定してください。

消音

リモコン

リモコンの消音ボタンを押すと、一時的音声出力を中止します。もう一度押すと、再び音声が出力されます。

消音中は「MUTE」が点滅表示されます。

ヘッドホンで聴くときは

本体前面にあるSDカードスロット・USB端子開閉カバーを開け、別売のヘッドホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）をヘッドホン端子につないでください。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ご注意

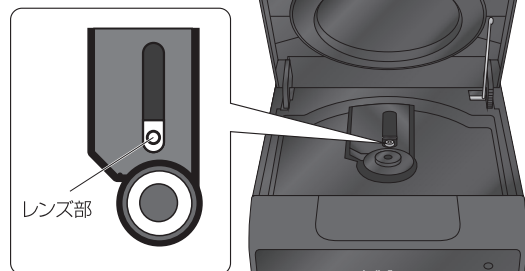
ヘッドホンを使用するときは、本機の音量を下げた状態で接続してください。また使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの乾電池は正しく装着されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●電源が入っていますか。 ●スピーカーは正しく接続されていますか。 ●メディアに合わせたファンクションが正しく選ばれていますか。 ●CD、USBメモリー、またはSDカードが正しく装着されていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか（本機から携帯電話を離してご使用ください）。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
CDが再生されない	●ファンクションとして「CD」が選ばれていますか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。
SDカードやUSBメモリーの音楽が再生されない	●メディアに合わせて、ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子やSDカードスロットに正しく装着されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●音量が最小になっていませんか。

お手入れのしかた

●本体のクリーニング

本体、スピーカー、リモコンの表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CDドアを開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー(エアスプレー)でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。

主な仕様

電源	AC100V　50／60Hz
	リモコン　DC3V　単4形乾電池×2本（別売）
消費電力	25W
最大出力	2W×2 (r.m.s)
スピーカー	口径27mm×2、口径100mm×2（インピーダンス：4Ω）
ラジオ周波数	FM 76.0～90.0MHz(100kHzステップ)
	AM 522～1620kHz（9kHzステップ）
出力端子	ヘッドホン端子　(φ3.5mmステレオミニジャック)
入力端子	外部音声入力（AUX IN）端子（RCAピンタイプ）
対応メディア	SDカード：SD16GB（SDHC対応）まで
	USBメモリー：32GBまで
フォルダー・ファイル	99フォルダー／999ファイル
対応フォーマット	MP3（ビットレート：8～320kbps）
外形寸法	本体　幅150mm×高さ150mm×奥行193mm（突起物含まず）
	各スピーカー　幅150mm×高さ150mm×奥行177mm（突起物含まず）
質量	約3.5kg（本体）
付属品	リモコン、音声入力用接続ケーブル、取扱説明書（保証書付）

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。